平成26年度

一般会計補正予算

平成26年12月定例会
12月3日～12日

今定例会は、埼玉中部資源循環組合の設立や指定管理者の指定、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算など23議案を審議し、すべて可決しました。議員提出議案として小川町地酒等による乾杯条例が提案され、全会一致で可決されました。請願審査1件は否決しました。

なお、一般質問には10人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

《主な質疑》

算出根拠は

問 西中学校改築事業の遅延による、損害賠償金の算出根拠は。

答 約款に基づいて算出しました。43日間の遅延分239万円です。

取りやめに

問 パトリアおがわのプール可動床の改修が、入札不調により取りやめとなったが、今後は。

答 利用者増を見込んで改修に臨みましたが、見直しを含めて2度とも不調に終わりました。

しばらくは現状のままご利用いただき、経過を見守ります。また、お客様のニーズや施設の維持管理等を総合的に判断して対応を考えていきます。

今後の活用は

問 和紙体験学習センターの改修が白紙に。今後の活用は。

答 施設のあり方を改めて検討し、活用していきます。

管理図面が存在しないので、まずはその作成を図り、用途に合わせた改修に臨みます。

四津山から見た町道228号線

いつ完成か

問 町道228号線道路改良事業費の大幅減の理由は。また進捗は。

答 国からの補助決定額が、当初見込んだ額に満たなかったための減額です。再三の追加要望を行ないましたが、至りませんでした。平成27年度中には完成予定です。

はじめの一歩

問 総合運動場の整備費の内容は。サブグラウンド化に値する整備か。

答 野球場予定地内において、ウオーミングアップ程度での使用を見込んだ整地と、簡易なフェンスの設置を考えています。野球場としての整備ではありません。

また雨漏りが

問 東中管理棟の屋根部分の工事請負費。再三の雨漏りとのことだが、その内容は。

答 1階保健室への雨漏りに対応した工事です。

問 耐用年数を総合的に判断したとき、建屋本体の限界も近い。対応は。

答 今後は、町が進めるアセットマネジメントの計画の中で検討します。

条例の制定・改正

《主な質疑》

開発許可等の権限が県から町へ

問 この条例制定のメリットは。

答 開発行為の許認可手続にかかる時間の短縮と、町に手数料が入ります。また、開発行為に関する規制を定めることもできます。

新たに都市政策課を設置

問 課の役割や規模は。

答 建設課所管の都市計画グループからの移行となり、開発部門を含めて担当します。規模については、調整中です。

問 当町の交通政策も担うことになるが、その意義とは。

答 総合振興計画や都市計画マスタープランにもある交通政策は、都市計画と一体となって変わっていくので、このような位置づけとしました。

和紙体験学習センターが指定管理者から直営に

問 直営に戻した理由は。

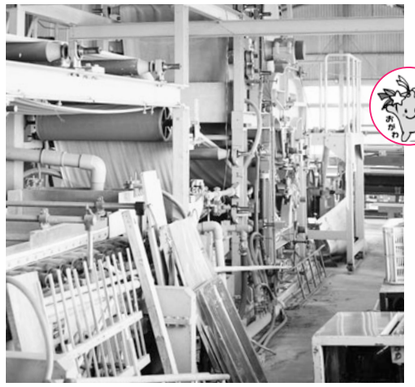
答 町有建築物で最古のもので、老朽化がその理由です。

問 直営後、どのように展開を考えているのか。

答 1日も早く和紙の資料の展示や後継者育成の場として、活用をしていきたいと思います。さらに、不特定多数の方が訪れる施設として、耐震を含め消防法に対応する工事を行なっていきたいと考えています。また、和紙の指導については、和紙工業組合の方と意見交換を実施し、連携をとって、活用を模索・検討していきたいと思います。

問 担当する職員体制はどのように考えているのか。

答 役場全体のバランスを見て、配置を考えていきます。



すたむちゃんのひと☆メモ

和紙体験学習センターには戦後導入された抄紙機（紙をつくる機械）が納められています。

和紙体験学習センター（外観）